

日本実験動物医学会平成 26-27 年度総会



2014年9月11日(木) 16:00~17:00
北海道大学
(第157回日本獣医学会学術集会)

総会次第

開 会

会長あいさつ

授与式

平成26-27年度(第11回)前島賞授与式

平成25年度実験動物医学専門医認定式

議長選出

議 事

- [1] 会則の改訂(第4条及び第6条)
- [2] 理事・監事の任命
- [3] 平成25-26年度事業報告 (H25 8/1~H26 7/31)
- [4] 平成25-26年度決算報告
- [5] 平成26-27年度事業計画 (H26 8/1~H27 7/31)
- [6] 平成26-27年度予算案
- [7] 来年の学会とエクスカージョンについて
- [8] その他
- [9] 報告事項

閉 会

授賞式

◎平成 26-27 年度（第 11 回）前島賞授与式

受賞者：

研究課題：

◎平成 25 年度 実験動物医学専門医認定式

新実験動物医学専門医（敬称略）

認定第 109 号 荒川 博

認定第 110 号 大沼 健太

認定第 111 号 尾崎 晴茂

認定第 112 号 小山 公成

認定第 113 号 嶋田 圭祐

認定第 114 号 鈴木 穂高

認定第 115 号 高橋 研

認定第 116 号 武田 眞記夫

認定第 117 号 花井 幸次

認定第 118 号 林元 展人

認定第 119 号 明貝 俊彦

認定第 120 号 吉田 綾恵

議 事

〔1〕 会則の改訂

会員のメーリングリストへの強制加入、役員任期について(8 ページ参照)

〔2〕 理事・監事の任命

平成 26-27~29-30 年度役員会および委員会

理事・監事

会長（渉外担当理事兼任）

安居院 高志（北海道大学）

副会長

三好 一郎（名古屋市立大学）

理事（会計・事務局担当）

角田 茂（東京大学）

理事

池 郁生（理研）

理事

古市 達哉（岩手大学）

理事

佐神 文郎（ボゾリサーチセンター）

理事

佐々木 宣哉（北里大学）

会長指名理事(庶務担当)

森松 正美（北海道大学）

会長指名理事

下田 耕治（慶応義塾大学）

監事 黒澤 努（元大阪大学）
監事 橋本 道子（アステラス製薬）

各種委員会委員長

学術集会委員会 池 郁生（理研）
研修委員会 佐神 文郎（ボゾリサーチセンター）
実験動物学教育委員会 古市 達哉（岩手大学）
情報・編集委員会 三好 一郎（名古屋市立大学）
前島賞選考委員会 佐々木 宣哉（北里大学）
実験動物法規等検討委員会 下田 耕治（慶応義塾大学）

【3】平成25-26年度事業報告（H25 8/1～H26 7/31）

1. 平成25-26年度総会の開催

日時：平成25年9月22日（日）13：00～14：00
場所：岐阜大学 第156日本獣医学会学術集会

議事

平成25年度事業報告（H25 2/1～7/31）/ 平成25年度決算報告 / 平成25-26年度事業計画案（H25 8/1～H26 7/31）/ 平成25-26年度予算案 / 来年の学会とエクスカージョンについて / 報告事項

2. 理事会の開催

日時：平成25年9月20日（金）17：00～19：00
場所：岐阜大学 第156日本獣医学会学術集会
出席者：安居院、池田、笠井、久和、黒澤、佐々木、下田、竹田、三好（以上理事）、
中井、八神（以上監事）
欠席者：有川（理事）

3. 学術集会委員会

委員長：久和 茂（東大）

委員：池 郁生（理研、副委員長）、北村 浩（名市大）、佐加良 英治（兵庫医大）、
鈴木 穂高（国立衛研）、高木 久宜（日本SLC）、高橋 英機（理研）、古市達哉（岩手大）
（1）委員会を1回（平成25年9月21日）開催した。
（2）下記の通り、教育講演・シンポジウムを企画・開催した。

第156回日本獣医学会学術集会
シンポジウム 「サル類と感染症」
日時：平成25年9月22日 10:00～12:00

場所：岐阜大学地域科学部・共通教育棟 104 番教室

日本実験動物科学技術さっぽろ 2014（第 61 回日本実験動物学会総会）

JALAM シンポジウム「精神・神経疾患の研究に用いられるモデル動物とその周辺技術」

日時：平成 26 年 5 月 14 日 13：30～15：00

場所：北海道大学学術交流会館

4. 情報・編集委員会

委員長：三好一郎（名市大）

委員：山添裕之（住友化学、副委員長）、伊藤麻里子（名大）、森松正美（北大）、
矢野一男（旭化成メディカル）

平成 25-26 年度事業報告

- (1) JALAM NEWS LETTER「実験動物医学」を発行した
No.41/2013.8 担当：伊藤
No.42/2014.4 担当：三好
- (2) 日本実験動物医学会のホームページを随時更新した
<http://plaza.umin.ac.jp/JALAM/>
- (3) JALAM-ML(jalam@umin.ac.jp)を管理運営した。
- (4) メーリングリスト及び会員ホームページ利用規程（案）を作成した。
- (5) 会員制ホームページ(<http://jalam.jp/htdocs/>)の運用を開始した。
- (6) JALAM 情報・編集委員会と JCLAM 総務部の合同会議を、第 61 回日本実験動物学会総会開催時の 5 月 15 日（木）18:45～20:00、札幌コンベンションセンターで開催した。

出席者：

JALAM 情報・編集委員会：三好一郎、山添裕之、伊藤麻里子、森松正美

JCLAM 総務部：矢野一男、和田聰、桐原由美子

議題：

1) NetCommons 使用時懸念事項と役割分担等

- ・ IE11 で表示が乱れること等に対処していく必要性が確認された。
- ・ 継続して登録者管理等を行っていく必要がある。（森松、和田担当）
- ・ 会員ホームページには一般から制限無しにアクセス可能な情報も掲載できることが紹介され、その活用について今後検討してゆくことが提案された。

2) JALAM 及び JCLAM での今後の活動予定について

- ・ NEWS LETTER の発行
- ・ 試験問題委員会からの認定試験問題募集
- ・ 総会
- ・ 理事選挙

5. 研修委員会

委員長：竹田三喜夫（フリーアドバイザー）

委員：木村 透（山口大学、副委員長）、安居院高志（北大）、上村亮三（鹿児島大）、黒木宏二（大日本住友製薬）、高木久宜（日本エスエルシー）、森松正美（北大）、矢野一男（旭化成メディカル）、山添裕之（住友化学）、和田聰（LSI メディエンス）

事業報告：

第61回日本実験動物学会総会に合わせ、5月18、19日にウェットハンド研修会「II. イヌ及びブタの獣医学的管理」を実施した。さらに、~~第2回目の研修会「II. イヌ及びブタの獣医学的管理」を157回日本獣医学会学術集会に合わせ9月8、9日に実施した。~~なお、今回受講者への連絡や研修課題の提出等に NetCommons による掲示板を活用したところ非常に有用であり、事務局の労力削減と時間短縮ができたことを付記する。

6. 実験動物学教育委員会

委員長：久和 茂（東大）

委員：安居院 高志（北大、副委員長）、猪股 智夫（麻布大）、岡田 利也（大阪府大）、角田 茂（東大）、斎藤 徹（日獣大）、佐々木 宣哉（北里大）、佐藤 雪太（日大）、竹内 崇師（鳥取大）、田中 あかね（東京農工大）、二上 英樹（岐阜大）、古市達哉（岩手大）、森松正美（北大）、横須賀 誠（日獣大）

委員会開催：

第156回日本獣医学会学術集会（岐阜大学）において委員会を開催した（平成25年9月22日9:00～10:00）。獣医学モデル・コア・カリキュラム等について意見交換した。

7. 実験動物法規等検討委員会

委員長：下田 耕治（慶應大）

委員：大沢 一貴（長崎大 副委員長）、笠井 憲雪（東北大）、佐々木 宣哉（北里大）、武井 信貴子（株イナリサーチ）、横山 政幸（武田薬品）

事業報告：

「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」の解説、及び「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」の解説について検討すべく、平成5年版の「実験動物の飼養及び保管等に関する基準の解説」の PDF ファイルを各委員にメールにて配布した。

8. 前島賞選考委員会

委員長：笠井 憲雪（東北大）

副委員長：鈴木 真（OIST）、

委員：上村 亮三（鹿児島大）、古市 達哉（岩手大）、橋本 道子（アステラス製薬）、浅野 淳（鳥取大）、田中 聖一（福岡大）、今野 兼次郎（京産大）、高島 宏昌（イナリサーチ）

平成25-26年前島賞の選考を平成25年9月22日に行った。

その結果、下記の大沼俊名会員を候補者としてふさわしいと結論し、安居院会長に報告した。なお、その後の総会で、同会員が表彰された。

候補者：大沼俊名会員（愛媛大学総合科学研究支援センター生物資源分野）

研究課題：c-Met は血管新生阻害剤による腫瘍のリンパ行性転移促進作用に関与している。

選考理由：本研究は VEGF(血管内皮成長因子)がリンパ行性転移を促進すること、そしてそこに c-Met が関与していること、VEGF 阻害剤投与時に c-Met 阻害剤を共投与することで、VEGF 阻害剤によるリンパ節転移の促進を抑制できることを初めて明らかにした。この研究は本学会若手研究者による実験動物医学の研究として今後の発展が期待でき、さらに候補者は動物実験施設の運営に関わりながら、当該研究を成し遂げたことは大いに評価される。よってここに前島賞候補者として推薦する。

[4] 平成 25-26 年度決算報告 (H25 8/1~H26 7/31) (別紙参照)

一般会計決算報告について

会費納入状況について

[5] 平成 26-27 年度事業計画案 (H26 8/1~H27 7/31)

1. 総会

平成 26-27 年度総会を第 157 回日本獣医学会会期中に行う。

2. 学術集会委員会

委員会を 1 回（平成 26 年 9 月 11 日）開催する。

下記の教育講演・シンポジウムを企画・開催する。

(1) 第 157 回日本獣医学会学術集会において JALAM シンポジウム「実験動物を用いたエネルギー代謝研究-最近のトピックから-」を開催する。

(2) 第 62 回日本実験動物学会（京都）における JALAM シンポジウムを企画する。

(3) 第 158 回日本獣医学会（十和田市）における JALAM シンポジウムを企画する。

3. 情報・編集委員会

(1) JALAM NEWS LETTER「実験動物医学」を発行する。

No.43/2014 年 8 月、No.44/2015 年 4 月 発行予定

(2) 日本実験動物医学会のホームページを随時更新する。

<http://plaza.umin.ac.jp/JALAM/>

(3) JALAM-ML(jalam@umin.ac.jp)を管理運営する。

(4) 会員制ホームページ(<http://jalam.jp/htdocs/>)を管理運営する。

4. 研修委員会

本年 9 月に 2 回目の「II イヌ・ブタの獣医学的管理」を実施する。157 回日本獣医学会学術集会開催時に委員会を開催し、コアカリキュラム策定に関する報告書および講師謝礼の取り決めについて委員へ報告する。また、2015 年 5 月の第 62 回実験動物学会に合わせウェットハンド「III. サル類の獣医学的管理」を実施予定であるが、サルの研修については受講者の安全対策上、人数が制限される一方、実施施設および JALAM 双方の負担が大きいため受講料を現行の ¥15,000 から ¥30,000 に値上げすることを委員会で審議し理事会に提案する。

5. 実験動物学教育委員会

- (1) 委員会を1回（平成26年9月12日）開催する。
- (2) 獣医学教育モデル・コア・カリキュラムの改定について意見交換する。

6. 実験動物法規等検討委員会

157回日本獣医学会学術集会開催時、平成26年9月12日（金）9:00～10:00に委員会を開催する。動物愛護管理法関連法規等について、理事会から諮問された案件について検討し、その結果を理事会へ報告する。「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」の解説、及び「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」の解説について検討する。

7. 前島賞選考委員会

第157回日本獣医学会時に第11回前島賞候補者の選考を行う。

[6] 平成26-27年度（H26 8/1-H27 7/31）予算案（別紙参照）

1. 一般予算について

[7] 来年の学会とエクスカージョンについて

第158回日本獣医学会学術集会が北里大学において9月に開催される。これに合わせてエクスカージョンを実施する。幹事は北里大学獣医学部、橋本 統 会員に依頼した。

[8] その他

1. 平成25-26年度会員数

日本実験動物医学会 会員数 合計 312名（平成26年7月31日現在）

2. 平成25-26年度入退者数

入会 45名

退会 23名

日本実験動物医学会
平成 23～25-26 年度役員会および委員会

理事・監事

会長	安居院 高志	(北海道大学)
副会長 (渉外)	黒澤 努	(元大阪大学)
理事	有川 二郎	(北海道大学)
理事 (会計・事務局担当)	池田 卓也	(日本チャールス・リバー)
理事	笠井 憲雪	(東北大学)
理事	久和 茂	(東京大学)
理事	三好 一郎	(名古屋市立大学)
理事	佐々木 宣哉	(北里大学)
理事	竹田 三喜夫	(フリーアドバイザー)
理事	下田 耕治	(慶応義塾大学)
監事	中井 伸子	(日本新薬)
監事	八神 健一	(筑波大学)

各種委員会委員長

学術集会委員会	久和 茂	(東京大学)
研修委員会	竹田 三喜夫	(フリーアドバイザー)
実験動物学教育委員会	久和 茂	(東京大学)
情報・編集委員会	三好 一郎	(名古屋市立大学)
前島賞選考委員会	笠井 憲雪	(東北大学)
実験動物法規等検討委員会	下田 耕治	(慶応義塾大学)

日本実験動物医学会会則 改訂案

●現行

(会 員)

第4条 本会会員は、日本獣医学会会員で、本会の趣旨に賛同する個人とする。

2. 本会に入会しようとする者は、本会員2名の推薦及び年会費を添えて事務局に申し込む。

第6条 本会に次の役員をおく。

(1)理事 若干名

(2)監事 2名

2. 役員任期は3年とし、再任を妨げない。

●改訂案

下線部を追加する。附則を追加する。

(会 員)

第4条 本会会員は、日本獣医学会会員で、本会の趣旨に賛同する個人とする。

2. 本会に入会しようとする者は、本会員2名の推薦及び年会費を添えて事務局に申し込む。

3. 会員は原則として本会メーリングリストに加入する。

第6条第2項を下記の通り改訂する（下線部分を追加）。

2. 役員任期は理事選挙のあった年の総会后から次回選挙のある年の総会までの3年とし、再任を妨げない。

(附 則)

本会則は平成26年9月11日より施行する。